

# 南高☺図書館通信

さいたま市立浦和南高校図書館

2021年11月発行

Vol.3 ★ No.2

不定期発行

☆ 図書館からのお知らせや、図書館の活動・仕事をお伝えします ☆



寒い冬が近づいています。オリンピック・パラリンピックの頃はあんなに暑かったのに…！  
体調に気を付けて、心は温かく過ごしていきたいですね。

## POPバトル結果発表！

9月1日～9月30日に開催された「第4回市立高校POPバトル」の結果が発表されました。

★1位『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』（神田桂一、菊池良 著 宝島社）

★2位『かがみの孤城』（辻村深月 著 ポプラ社）

★3位『となり町戦争』（三崎亜記 著 集英社） ←南高生が作成したPOPです！

南高生作成のPOPが3位に！投票結果とPOPは、さいたま市図書館のホームページで見ることができます。投票してくれた皆さん、ご協力ありがとうございました。

## 交換展示をしています

今年も交換展示が始まりました。11/16（火）～12/5（日）（南高では～12/3（金））、武蔵浦和図書館との「交換展示」を行います。武蔵浦和図書館職員おすすめの本を南高図書館で、南高生（図書委員）おすすめの本を武蔵浦和図書館で、作成したPOPと共に展示する企画です。すっかり恒例行事となりました。昨年武蔵浦和図書館では、南高生のおすすめ本がよく借りられたそうです。市民の方に南高を知ってもらう機会にもなっています。南高図書館での展示、武蔵浦和図書館での展示、両方ともぜひ見てくださいね。

武蔵浦和図書館：武蔵浦和駅西口 徒歩1分 サウスピア2・3階

## ビブリアバトルを開催しました！

10月20日、1年生図書委員によるビブリアバトルを開催しました。もちろん、マスクをしっかりと着用しての発表です。チャンプ本は以下のとおりとなりました！

★チャンプ本『ポッコちゃん』（星新一 著 新潮社）

チャンプ本は図書館に入っています。ぜひ読んでください！



ビブリアバトルとは？  
おさらい！

本の紹介ゲームで、参加者（バトル）が制限時間内に好きな本を紹介します。  
その後の投票で一番読みたいと思った人が多い本が「チャンプ本」となります。

## 「SDGsを調べる」パスファインダーを発行しました

パスファインダーとはトピックについて調べる方法を紹介した手引きです。図書資料を始め、調査に使える色々なツールを載せています。今回、SDGsに関して調べるためのものを作成しました。図書館で配布しています。学習にぜひ役立ててください。

図書館にはSDGsに関連する本が多くあります。活用してください。  
どんな本を見たらよいかわからないときは、司書に相談してくださいね。



## こんな仕事をしています ⑧ ワーキング・グループ

さいたま市立高校は南高の他に、市立浦和高校、大宮北高校があります。どの学校にも図書館があり、学校司書がいます。3校の学校司書が集まって情報交換などをし、自校の活動の参考にしたり、同じ学校図書館としての方向性を確認したりしています。

### 事前準備

・会議の会場や日程を決める

次は南高を  
会場に  
できます？

いいですよ！



・議題を決める

話し合いたいことを  
挙げてください。



・会場校から通知を出したり、  
資料の準備をする

通知

日時 ○月○日 ▲時から■時まで  
会場 浦和南高等学校 図書館  
議題 1 △△について  
2 □□について ……

### 会議当日

・議題に沿った話し合いや情報交換

図書委員はどんな  
活動していますか？

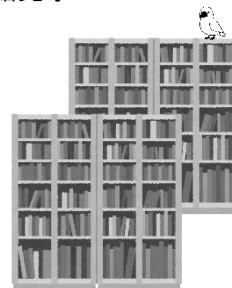


棚のレイアウト、  
どうすれば良くなる  
でしょう？

こういう資料  
作ってます。



・図書館見学



他の図書館見るの、  
面白い！



人物イラスト: Loose Drawing

## みんなの本棚 ～秋の夜長にジュール・ヴェルヌ～

ジュール・ヴェルヌは(1828-1905年)はフランスの作家です。『海底二万里』や『十五少年漂流記』は、タイトルだけでも聞いたことがある人が多いのではないのでしょうか。ヴェルヌは科学技術の要素を取り入れたフィクションの名作を多く残しており、「SFの父」とも呼ばれています。今読んで古さを感じさせず、心躍る冒険の世界を楽しめること間違いなしです！

### 『海底二万里』上・下 新潮社

1866年、人々の関心事は航海中の船を沈没させる巨大生物にありました。自然史博物館のアロナクス教授は使用人のコンセイユと共に、船に乗り込んでその怪物を調査する機会を得ます。しかしそれは、思いもかけない海底旅行の始まりとなったのです。

海底旅行の舞台となる潜水艦ノーチラス号の謎と、地上とは全く異なる世界が広がる深海の描写に胸が高まります。

☆他に『月世界へ行く』(東京創元社)、  
『地底旅行』(東京創元社)、  
『神秘の島』(福音館書店)  
を所蔵しています。

### 『八十日間世界一周』上・下 光文社

ロンドンの社交クラブ《改革クラブ》のメンバーであるフォッグ氏は精密機械のように時間に正確で几帳面、私生活は謎に包まれた風変わりな人物でした。ある日氏は、《改革クラブ》のメンバーに対し、「八十日間で世界一周できる」ことに全財産を賭けます。その日1877年10月2日午後8時45分、フォッグ氏は帰りの日付を約束してロンドンを旅立ちました。計算どおり、世界一周は果たせるのでしょうか？

### 『二年間の休暇』上・下 岩波書店

「十五少年漂流記」として知られる物語の完訳。休暇に入った寄宿学校の生徒たちは、帆船でニュージーランド沿岸を周るはずでした。ところが乗組員が乗船する前に船が流され、子どもたちだけを乗せたまま嵐に巻き込まれてしまいます。漂着した島で、少年たちだけの生活が始まりました。

サバイバルの様子はもちろん、島の自然や地理、各少年の個性も物語の魅力です。